



ドーナツの会スタッフと戸田さん(前列左から2人目)

## 笑顔いっぱいみんなで食べるとおいしいね 「ドーナツこども食堂」開設

戸田和代さん(66歳)日高町府市場



元小学校校長らが、6年前に立ち上げた不登校やひきこもりの若者を支援するNPO法人コウノトリ豊岡・いのちのネットワーク「ドーナツの会」。この事務局長が戸田和代さんです。今年3月、支援活動の幅を広げようと、事務所のある豊岡健康福祉センターの1階に、安価な食事と若者の居場所を提供する「子ども食堂」を開設しました。

「ここにきたらドーナツが食べられるのですか? とよく聞かれるんです」と笑顔で話す戸田さん。利用者やスタッフが手をつないで輪(ドーナツ)になって、みんなが笑顔になれる場所を目指します。食堂のスタッフは全てがボランティア。メニューは、管理栄養士や調理師の免許を持った人が担当し、近所の人からは「お米30kg提供します」「とれとれの魚持ってきます」「とれとれの魚持つてきます」なども広がっています。

# Toyooka Topics —とよおかの“旬”な人と話題—



▲念入りに色選び

## 城崎温泉ステキ体験旅行博 麦わら細工でブローチ作り

3月19日、かみや民芸店(城崎町湯島)で、麦わら細工体験が実施されました。講師は神谷俊彰さんです。

城崎温泉博覧会から今年リニューアルした「城崎温泉ステキ体験旅行博」のプログラムの一つとして開催されました。

今回の体験では、見本作品を参考に作りたい図柄を決定。箱とブローチの好きな方に細工を施しました。

友人と参加した田村夏生さん(篠山市)は「目指せ! 先生のお手本!」と意気込んで、難しい図柄のブローチ作りに挑戦。「旅行の良い思い出になります」と笑顔で話していました。

## 出石そば喰い大会

### かむな、休むな、味わうな

4月9日、出石庁舎前広場で、第45回出石そば喰い大会(主催・NPO法人但馬國出石観光協会)が開催され、家族円満戦に24チーム、団体戦に31チーム、個人戦に94人が参加しました。

例年より1週間早い開催で、サクラの開花も遅れたことから、今年は満開のサクラの下での開催となりました。時間内に食べた皿の枚数を競う本大会。勝利の方程式「かむな、休むな、味わうな」の応援を背に受け、参加者はそばを味わう余裕もなく、必死に食べ続けました。

家族円満戦に出場した倉橋由佳さん(綾部市)は「喉越しが良く、おいしかったです。まだ食べられるので、食べ歩きをします」と余裕の表情でした。



▲食べた皿の枚数の合計を競う家族円満戦

